

「軽量フレーム」を使用した等厚コンクリート擁壁^{ようへき}

1. ねらい

熟練した建設業技能者の減少により、施工が困難となりつつあるコンクリート練ブロック積土留工の、代替工法の一例として「軽量フレーム」を使用した等厚コンクリート擁壁について紹介します。

2. 概要

盛土の造成や崩壊地の復旧では、古くから間知石^{けんちいし}を用いた石積やコンクリートブロック積の擁壁が普及・定着してきました。これらの積み作業には、熟練した技能と相当の体力を要しますが、その技能者の高齢化や減少が進み、一部では施工が困難となりつつあります。そのため、軽くて組立が容易な「軽量フレーム」を使用した「等厚コンクリート擁壁」を考案したところです。

この擁壁の施工は、①鉄製の軽量フレームを現地で組立・設置、②軽量フレームに木製残存型枠を固定、③コンクリートの打設となります。

また、型枠材を縦使いにすることで地形に沿った曲線施工も可能となります。

軽量フレーム設置状況



平割材型枠設置状況



コンクリート打設状況



施工完了



3. 成果

施工者からは、「施工が容易で軽量のため労力の負担軽減ができた。」との意見が寄せられました。

4. 問い合わせ先

計画保全部 治山課 電話026-236-2640